

日本語を正しく使って正しく伝えよう

9月28日に某芸能人が「二人で同時に結婚を発表」というニュースが流れた。翌日29日の新聞にも大きく載っていたが、私はこの芸能人のことを知らないで「誰のことやら？ 何のことやら？」

しかしながら、新聞に載っていた二人の記者発表の内容を見てびっくり仰天。

芸能人 A のメッセージは、「結婚いたしましたことをご報告申し上げます」

芸能人 B のメッセージは、「結婚させていただくことになりました」

単純に読み取ると、芸能人 A の方のメッセージは理解できた。「結婚したので皆さんに報告したい」という意味なのだろうと理解できる。ところが芸能人 B の方になると、全く状況がわからない。

結婚したいと誰かにお願いしたのかどうかはわからないが、「誰かの差し金で結婚させてもらう」ということで、どうやら本人の意志ではないようだ。

おまけにこの人は、「ことになりました」と言っているのに、まだ結婚はしていなく「結婚が決まっただけ」とも読み取ることができる。

事実関係は知りたくもないが、背後に潜んでいる大問題は見逃すことは出来ない。

近頃数多く使われる「…させていただく」という語り口の蔓延がこのような問題に繋がっているのではないか。

結婚のような「主語をはっきりさせるべき表現」の時には、「させていただく」と言うような他の力によって動くことを意味するような表現は避けるべきである。私の意志で結婚したことを、明瞭な表現で言わなければならない。

もっとも、親の反対に遭って暗礁に乗り上げていた結婚話が、相手の妊娠によって親が折れて結婚が許されたという話ならばわからなくもないが。

おもちゃドクターという活動を長く続けているが、そのことでこんなことを言われたことがある。

「素晴らしい活動をなさっていらっしゃるんですね」

「何年ぐらいされておられるんですか？」

こういう言い方をされると、会話を中断して早く退却したい気持ちになる。

「この度、私XXXXは 自由民主党総裁選挙に立候補させていただくことになりました」と記者発表した人がいた。

「俺はやらせた覚えはないけど、誰にやらされたんですか？」

と切り返す新聞記者がいないのが残念な気がする。

「この度自由民主党総裁選挙に立候補する事にいたしました。」と言ってくれば、強い意志を感じるのだが、こんな自分の意志もはっきりしていない人に任せるわけにはいかないと思う人はいないのか。

家電量販店で買物をしようと思って店に入った時のこと。

品物を眺めていたら、他の客と店員との間の会話が聞こえてきた。

「何か探されておられますか？」

「キャンペーン商品としてご用意させていただいた物で、他の商品よりお得な価格にさせていただいております。」

「お買い上げいただいたら、三日以内にお届けさせていただき、当店の社員が据付けさせていただきます」

「お会計をさせていただきますので、レジの方へ行かれてお待ち下さい。」

この店で買う気がなくなって、買物をやめて帰宅した。

近頃蔓延している「れる」「られる」表現は、丁寧語・謙譲語として使われることが多いが、受け身の表現などその他の使い方もされるので注意が必要である。

また、前記の「レジの方へ行かれて」のような丁寧語のつもりで使った「れる」「られる」が、聞き手には同音異語

の「怒れる・いかれている」と伝わるかもしれないので、その可能性がある場合には使うべきではない。  
「あなたは行かれていらっしゃいましたか？」なんて言われると、殴りかかりたくなる。

遠い所までお出でになられて、しかも雨に降られて濡れられて大変な思いをされたでしょうね。  
裕福な家庭に生まれられて、しっかり教育を受けられたご立派な方です。  
古いおもちを細かく砕かれてフライパンで煎られれば、あられが食べれます。

過剰な敬語や丁寧語・謙譲語は耳障りであるのと同時に、意味が誤って伝わる可能性があり、危険なこともある。  
近頃、「ら抜き言葉」や「れる・られる」の乱発などを中心に、言葉使いが乱れているようだが、何が元でこんなことになったのだろう。

以上